

「国連憲章を守れ」の一点での 団結強化こそ戦争終結の道

共産党の志位和夫委員長は2月24日、ロシアのウクライナ侵略1年にあたり、国連総会でロシア軍の即時撤退などを求める決議が採択されたのを受け、談話を発表しました。

日本共産党 志位委員長が談話



志位和夫委員長

国連総会緊急特別会合は、決議案を141カ国の賛成で採択しました。談話では決議を歓迎するとともに、国連憲章順守の一点で国際社会が団結し、多数の国の声にしていくことこそ侵略戦争終結の最大の力となることを強調しています。

岸田首相は、ロシアの無法な侵略を口実に、空前の大軍拡を推進しようとしています。談話では、ヨーロッパにはロシアも含めた平和の枠組みがあったのに、北大西

洋条約機構（NATO）もロシアもこの枠組みを生かさず、軍事対軍事の悪循環に陥ったと指摘。軍事同盟で平和はつukれないことがヨーロッパの教訓であり、「憲法9条をもつ日本が、ASEAN(東南アジア諸国連合)と協力して、東アジアサミット（EAS）という地域のすべての国を包摂した平和の枠組みを発展させることこそ、東アジアに平和をつくる道である」と強く訴えています。

トルコ・シリア地震

緊急募金にご協力下さい

日本共産党

トルコ・シリア地震で緊急支援募金を受け付けます。国際機関などに届けます。募金の送り先は以下の通りです。

郵便振替 ▼口座番号 00170-9-140321
▼加入者 日本共産党災害募金係

※通信欄に「トルコ・シリア地震募金」と記入して下さい。手数料はご負担願います。

核攻撃被害も想定

全国300自衛隊基地を「強靱化」

防衛省 国民に隠しゼネコンと相談

A

- ・主要司令部等の地下化を推進。
- ・主要施設のHEMP攻撃対策を推進。
- ・主要施設のライフラインの多重化を推進。
- ・多層抗たん性向上策として、分散パッドの整備等を推進。
- ・火薬庫の整備や、民間燃料タンク借り上げにより、必要保管量を確保。
- ・CBRNに対する防護性能の付与として、施設の機能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保等の施設再配置・集約化等を実施。

②自衛隊施設の抗たん性の向上（武力攻撃・テロ行為等）

防衛省が昨年12月23日にゼネコンに配布した文書

赤旗版白曜
スクープ

2月26日号

全国約300の自衛隊基地を核兵器などによる攻撃に耐えられるよう整備する一。全国どこでも戦場になることを想定した計画を防衛省が立てていたことが「しんぶん赤旗」日曜版編集部の調べで分かりました。

計画は、編集部が入手した防衛省内部文書で判明。「武力攻撃・テロ行為等」に対抗し、施設を順次・計画的に整備するとし、内容として▽主要司令部等の地下化▽核兵器、化学、生物、放射性物質、爆発物による脅威・攻撃への防護などを挙げています。対象は全国293基地です。

防衛省は、敵基地攻撃すれば報復攻撃で日本に「大規模な被害が生じる可能性」があることを認めています。この文書は「大

日本共産党

規模な被害」を前提に基地を整備しようというものです。

防衛省はこの文書を昨年12月、ゼネコンなどを集めた会合で配布し、意見交換しました。23年度予算案の国会提出（1月23日）以前。計画を国会にも国民にも隠したままゼネコンには説明し、予算を決める前から大軍拡の具体化を進める一やり方の上でも許されません。